

01 エルサレムの かなしみ



哀歌1:1~8 ああ、人の群がっていたこの町は、ひとり寂しくすわっている。国々の中で大いなる者であったのに、やもめのようになった。諸州のうちの女王は、苦役に服した。彼女は泣きながら夜を過ごし、涙は頬を伝っている。彼女の愛する者は、だれも慰めてくれない。その友もみな彼女を裏切り、彼女の敵となってしまった。(1~2)

1. イスラエルの最大の問題は何だったのでしょうか

- 1) 重要な一つを知らない宗教団体でした
- 2) 最も問題になることを知らない律法団体でした
- 3) 災いを防ぐことができない伝統と制度にこだわりました

2. 根本を逃したためです

- 1) すべての国々の中で大いなる者が労働者になりました (哀歌1:1)
- 2) 友人が敵になりました (哀歌1:2)
- 3) 祭司、長老たちは、食物を捜していたのですが町の中で息絶えました (哀歌1:19)

3. 回復の時刻表を持たなければなりません

- 1) 根本とは、神様が与えられた契約です (イエス・キリスト)
- 2) 回復とは、神様が与えられた力です (神の国)
- 3) 挑戦とは、神様が与えられた使命です (ただ証人)

02 かみさまの いかり



哀歌2:1~7 主は、敵のようになって、イスラエルを滅ぼし、そのすべての宮殿を滅ぼし、その要塞を荒れすたらせて、ユダの娘の中にうめきと嘆きをふやされた。主は、畑の仮小屋のように、ご自分の幕屋を投げ捨てて、例祭の場所を荒れすたらせた。主はシオンでの例祭と安息日とを忘れさせ、激しい憤りで、王と祭司を退けられた。主は、その祭壇を拒み、聖所を汚し、その宮殿の城壁を敵の手に渡された。すると、例祭の日のように、彼らは、主の宮でほえたかった。(5~7)

1. 神様がイスラエルに怒られた3つの理由があります

- 1) 主は「イスラエルの主」であるということです
- 2) メシヤは他の国を破壊して勝利した救い主であると主張しました
- 3) イスラエルは選民、他の国は異邦人であると言いました

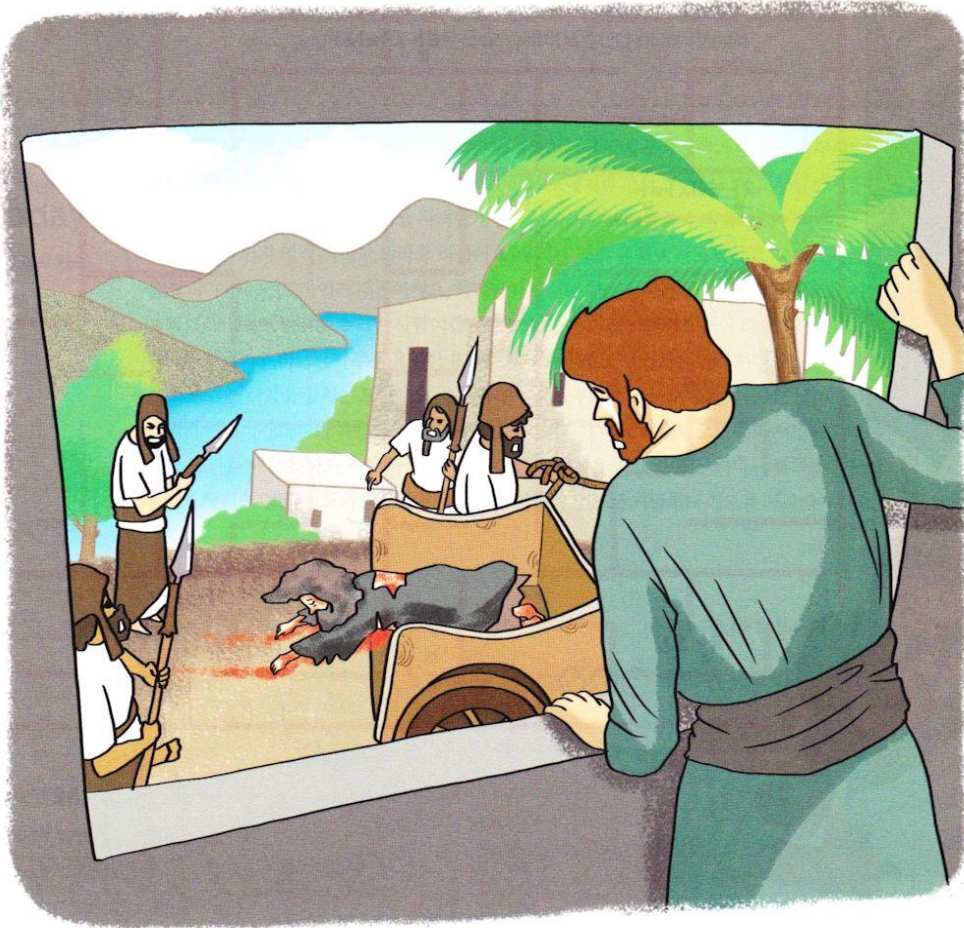
2. 外部の侵略を防ぐことができませんでした

- 1) 王宮と城を崩しました(哀歌2:5)
- 2) 王と祭司を軽蔑しました(哀歌2:6)
- 3) 主の神殿が敵の手に渡されました(哀歌2:7)

3. 正しい力を育てなかった結果です

- 1) 他のをしました
- 2) 価値のないことをしました
- 3) 間違ったことをしました

03 くいあらためと きぼう



哀歌3:1~5 私^{わたし}は主^{しゅ}の激^{げき}しい怒^{いか}りのむち^うを受けて^{なや}悩み^あに会^もった者^{もの}。主^{しゅ}は私^{わたし}を連れ去^つって、光^{ひかり}のないやみ^{あゆ}を歩^{あゆ}ませ、御^み手^てをもつて一日^{いちにち}中^{じゅう}、くり返^{かえ}して私^{わたし}を攻^せめた。主^{しゅ}は私^{わたし}の肉^{にく}と皮^{かわ}とをすり減^へらし、骨^{ほね}を砕^{くだ}き、苦^{にが}味^みと苦^く難^{なん}で私^{わたし}を取^とり困^{かこ}んだ。

1. 救^{すく}い観^{かん}について話^{はな}してみましよう

- 1) 信^{しん}仰^{こう}によって救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します
- 2) 行^{おこな}いによって救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します
- 3) 霊^{れい}的^{てき}体^{たい}験^{けん}で救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します

2. 福^{ふく}音^{いん}を離^{はな}れた者^{もの}の結^{けつ}果^かでした

- 1) 肉^{にく}、皮^{かわ}、骨^{ほね}が砕^{くだ}れました (哀歌3:4)
- 2) ずつと前^{まえ}に死^しんだ者^{もの}のようでした (哀歌3:6)
- 3) 一日^{いちにち}中^{じゅう}あざけり^{うた}の歌^{うた}となりました (哀歌3:14)

3. 神^{かみ}の子^こどもであるRemnantは、3つ^{ただ}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません

- 1) 福^{ふく}音^{いん}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません
- 2) 祈^{いの}りを正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません
- 3) 伝^{でん}道^{どう}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません

か てきょう 3課適用

すく 救いをただ 正しく理解している友だちはだれかな



すく 救われるためには、礼拝を絶対にのがしたらだめ！



れいはい 礼拝だけよくささげるのでなく、献金もたくさんすべき！



でも、神様がいちばん願われることは、信仰よ。



神様が目に見えるなら、私 はもっとよく信じられるのに。

つぎ 次の受け入れの祈りを読んで、イエス・キリストは私の人生の主人であると告白しましょう。

生きておられる神様！

私は今まで神様を離れて

私の思うとおりに生きてきた罪人であることを告白します。

いま、この時間、私の心のとびらを開いて

イエス様を私の人生の主人として受け入れます。

私の心に入ってきてくださり

私を治めて、導いてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

04 レムナントの くるしみ



哀歌4:1~5 ああ、金は曇り、美しい黄金は色を変え、聖なる石は、あらゆる道ばたに投げだされている。純金で恒踏みされる高価なシオンの子らは、ああ、陶器師の手で作られた土のつぼのようにみなされている。ジャッカルさえも乳房をあらわし、その子に乳を飲ませるのに、私の民の娘は、荒野のだちょうのように無慈悲になった。乳飲み子の舌は濁いて上あごにつき、幼子たちがパンを求めても、それを裂いて彼らにやる者もない。ごちそうを食べていた者は道ばたでしおれ、紅の衣で育てられた者は、堆肥をかき集めるようになった。

1. 聖書に登場する重要な単語があります (Remnant)

- 1) 旅人
- 2) 散らされた者
- 3) 隠された者
- 4) 残りの者

2. 準備をしなかったイスラエルの結果があります

- 1) 金が光を失いました (哀歌4:1)
- 2) 宝が土器のようにみなされました (哀歌4:2)
- 3) 乳飲み子の舌は濁いて上あごにつきました (哀歌4:5)

3. Remnant運動はすべての問題の解決策です

- 1) 教会が起きなければなりません
- 2) 既成世代が覚醒しなければなりません
- 3) 今はRemnantが自ら起きなければなりません

か てきょう 4課適用

あいか しょう せつ
哀歌4章 1～5節のみことばを見て、次の問いに答えましょう
ほろ びんぞく
滅びたイスラエル民族をあらわすことばでないのは、どれでしょうか。

1

くもった金

2

とうきし つく
陶器師が作った
つち
土のつぼ
つち うつわ
(土の器)

3

ははおや
母親からはなれ
まいご
迷子になった
こども

4

した うわ
舌が上あごに
ついてしまった
ちのこ
乳飲み子

かみさま わたし
神様は私たちを () として召されました。
() に入ることばを<例>から探して入れて、声を出して
よ せいがい
読みましょう(正解は4つあります)

れい
<例>

よげんしゃ ち もの かく もの
預言者、散らされた者、隠された者
のこ もの い もの たびびと
残りの者、あると言われる者、旅人

かみさま わたし
神様は私たちを
() として召されました